

川下り実行委員会と田代公民館が主催する、第8回米代川流域川下りが、外川原河川公園をスタート、能代市二ツ井町をゴールに行われました。今回は、市民や北秋田市のグループ、10チーム44人が参加しました。

心配された天候は回復し、朝から夏空がのぞく好天。水量も豊富で、絶好の川下り日和となりました。陸上では汗が噴き出るほどの猛暑でしたが、参加者たちは、川面を渡るさわやかな風を受けて、母なる米代川の風景を心行くまで楽しみました。



母なる米代川を
ゴムボートで下りました(8月11日)

比内地域でお盆恒例の七夕行事が行われました。

大葛地区では、金山が栄えていた頃から伝わる「金山七夕」が行われ、勇壮な太鼓の音が響き渡りました。この日のために集まった保存会のメンバーや、他の町内からの若者たちも応援に駆け付けて地区の家々を回り、最後は地区合同の盆踊り大会に合流しました。

同じ日、三岳地区中野でも「中野七夕」が行われました。地区の子供たちが作った絵灯ろうが竿灯のように連なり、元気な太鼓が打ち鳴らされました。元気に演奏する子供たちに、観客からは大きな拍手と声援が送られていました。



▲金山七夕太鼓



◀中野七夕

夜空に浮かぶ七夕の絵灯ろう(8月13日)



大館出身のクリエイターが、自発的に立ち上げたアートプロジェクト「ゼロダテ／大館展2007」が開催され、市内外から、多くのかたが訪れ、独自のアートの世界を楽しみました。

このプロジェクトは、芸術でまちおこしをしようと企画されたもので、大町商店街の空き店舗を会場に、作品の展示のほか、おもちゃを交換できる「カエッコ.ヤ」の開店や、独自のイカダを組み立てて川で競争をするイカダレースなども行われました。

「ゼロダテ／大館展」開催(8月10日)



地域への想いを込めた

大輪の花(8月12日)

花矢地区の夏祭りが花岡体育館で開かれ、22年ぶりの花火に約800人が歓声を上げました。花矢地区の夏祭りは、かつては毎年花火が打ち上げられていましたが、鉾山の衰退で花火の打ち上げが無くなり、規模も縮小して続けられてきています。

「もう一度花火が見たい」。昭和63年度の花岡中学校卒業生の有志が、花火の費用や準備の手続きなどすべて行い、この日の打ち上げとなりました。有志から集まった費用は40万円。ふるさとへの想いを込めた75発の花火が、花岡の夜を飾りました。